





越境統合成長理論









「ストレッッチ」

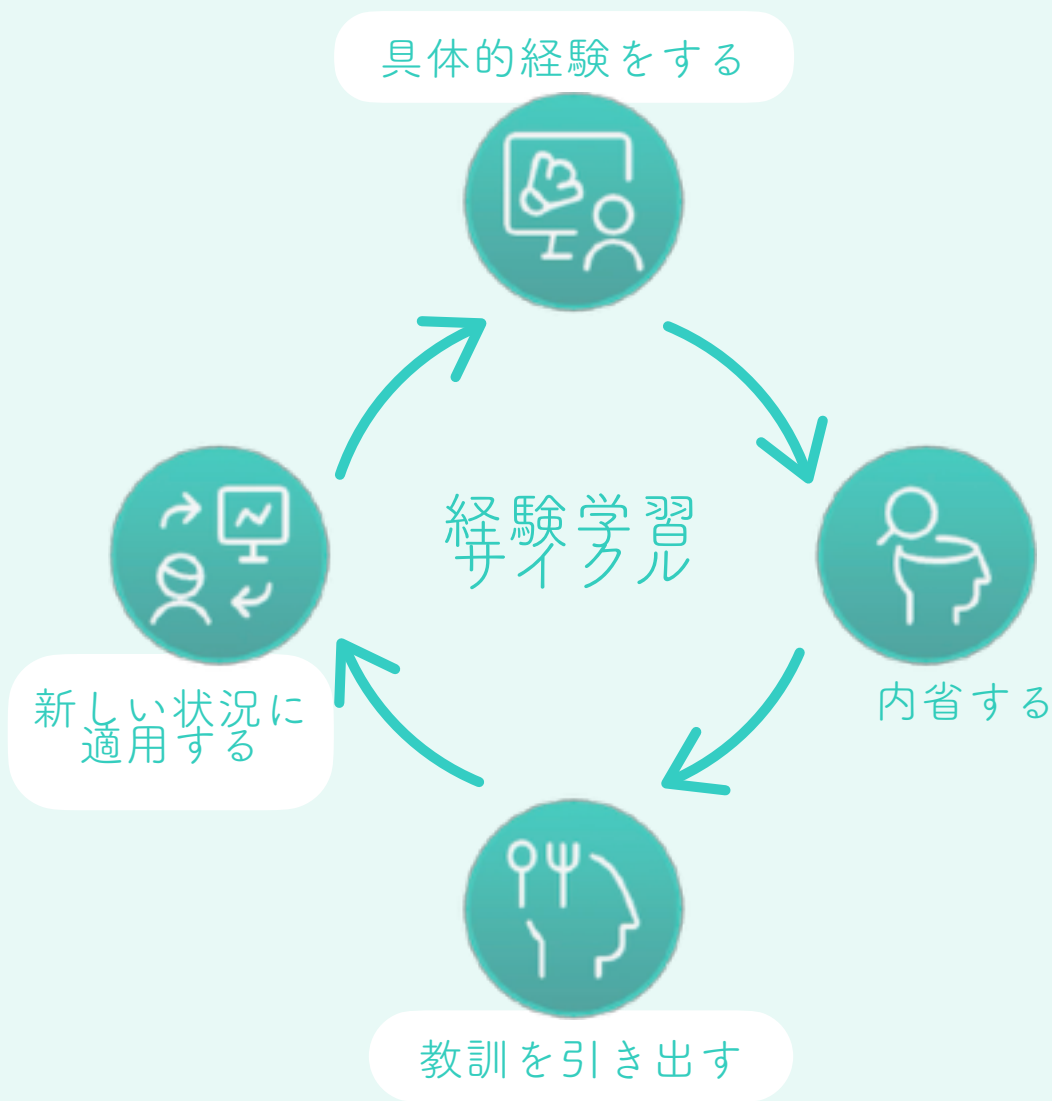
(越境と統合)

一般に、ずっと同じ仕事をしていると、成長カーブは鈍化していきます。

新しい業務領域や職場への越境は、異動者の“できること”が増えること（足し算の成長）に加えて、既存の知識や視点と掛け合わさることで、『多角的な視点から統合的に構想/判断する力』、『普遍的なナレッジを抽出して未知の領域に応用する力』などが身につく効果（掛け算の成長）があります。

経験学習モデル（コルブ）

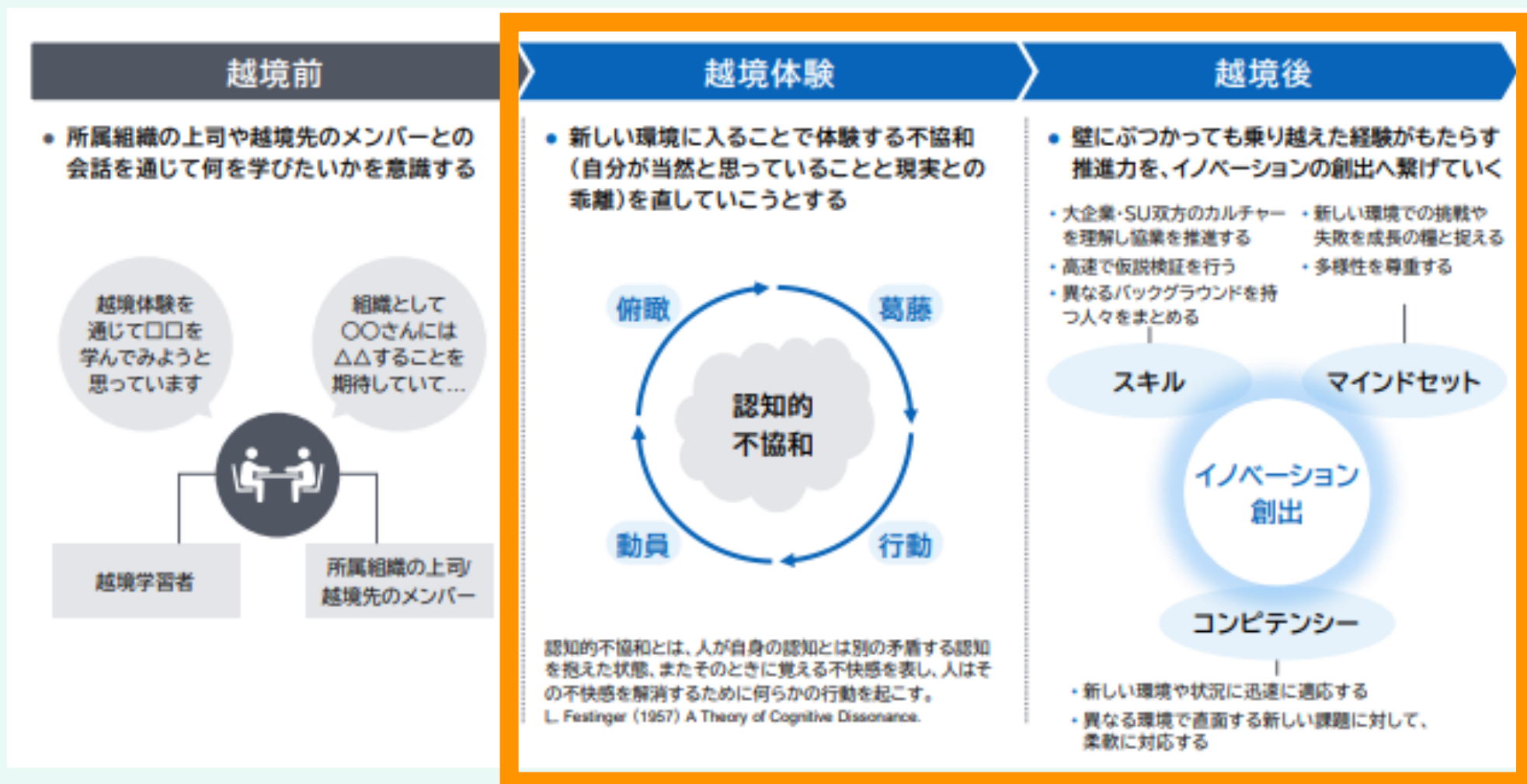
人は、具体的経験をして、それを内省して得た教訓を、新しい状況で試すことによって学習するといわれる。



越境して得た新しい教訓や視点を
既存の知識と統合して、新しい
仕事に適用できるようになる

「越境学習」による企業のイノベーション創出（2025 経済産業省）

- ・越境学習者が、組織文化が大きく異なるアウェイの環境で葛藤しながら挑戦し、実績を得る良質な経験をすることで、そのスキルやコンピテンシーが変革される効果に注目している。



越境先の価値観に葛藤しながらも行動し続けるうちに、新旧の価値観が統合され、一段高いところから物事を俯瞰する視点やハイブリッドな仕事スタイルが身につく。

例

マーケティング コミュニケーション×事業



得意先責任者と事業の収益設計をひざ詰めでやった経験から、事業視点でのコンサル業務を獲得できるようになった

例

博報堂BP職×グループ のデジタル専門会社



デジタルチームがどんな工数で
どんな稼働をしているかの理解
が深まり、デジタル領域の管理
レベル、得意先への報告・説
明レベルが格段に上がった

例

本社マネプロ職× BP職

→ 会社の戦略や組織運営などのマネジメントサイドを経験したことで、得意先経営層と感覚や悩みを共有して対峙できるようになった

例

制作担当× メディア担当



メディアの特性を生かすという視点から、制作の企画を考えられるようになった

例

MP局担×ブランド エージェンシー業務



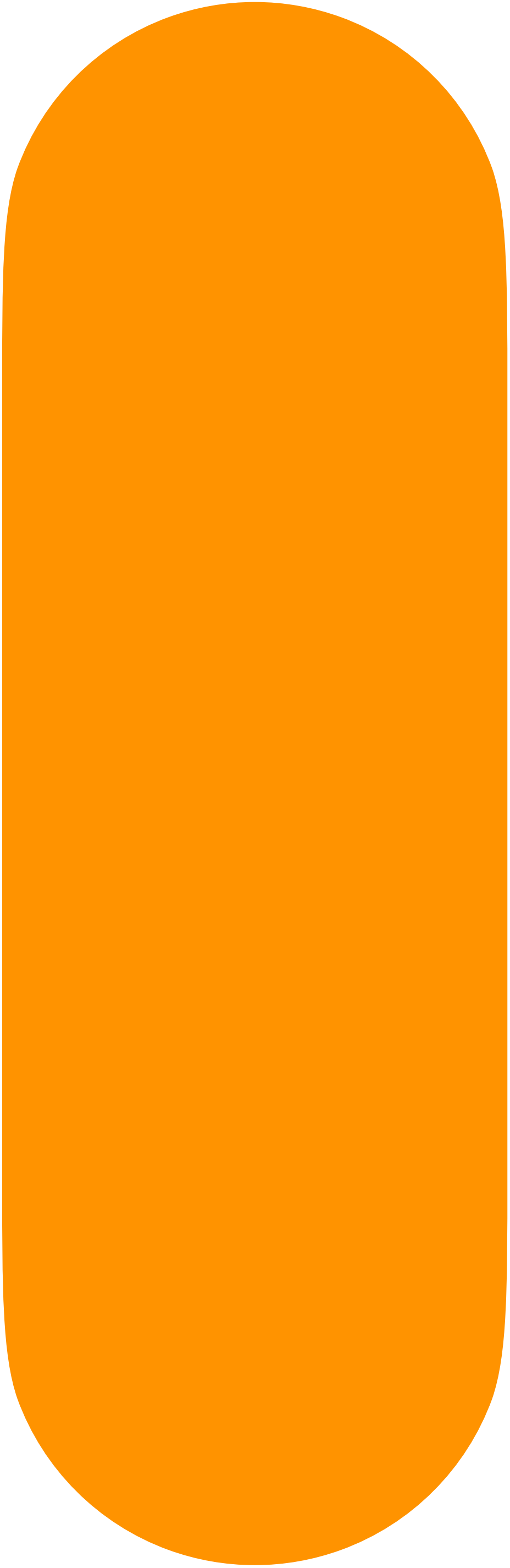
メディアのソリューション開発において、広告主・スポンサーのメリットを十分に作り込めるようになった

例

戦略× クリエイティブ



ブランド戦略と表現・顧客体験・施策を一気通貫で構想し、制作をディレクションすることができる



「越境」

「ストレスフルな時期」

(越境と系統合)

一般に、同じ仕事をしていても成長力一歩は鈍化していきます。

既存の知識や視点と掛け合わせる「多角的な視点から統合的に構想/判断する」普遍的

な方々が抽出して未知の領域に応用する力」など効果(卦計算の成長)があります。

新しい業務領域や職場への越境は、異動者が増える(足算成長)に加えて

今後、戦略・クリエイト・デジタルが一貫した企画提案や事業やデジタル・デジタルと

新し領域への拡張が求められ、越境体験に統合力や応用力が重要になる。

博報堂は職種や事業領域、得意先、業種、担当業務、勤務地など様々な越境の機会があります。













例

マーケティング コミュニケーション×事業



得意先責任者と事業の収益設計をひざ詰めでやった経験から、事業視点でのコンサル業務を獲得できるようになった

例

博報堂BP職×グループ のデジタル専門会社



デジタルチームがどんな工数で
どんな稼働をしているかの理解
が深まり、デジタル領域の管理
レベル、得意先への報告・説
明レベルが格段に上がった

例

本社マネプロ職× BP職

→ 会社の戦略や組織運営などのマネジメントサイドを経験したことで、得意先経営層と感覚や悩みを共有して対峙できるようになった

例

制作担当× メディア担当



メディアの特性を生かすという視点から、制作の企画を考えられるようになった

例

MP局担×ブランド エージェンシー業務



メディアのソリューション開発において、広告主・スポンサーのメリットを十分に作り込めるようになった

例

戦略× クリエイティブ



ブランド戦略と表現・顧客体験・施策を一気通貫で構想し、制作をディレクションすることができる